

1. はじめに

東日本大震災後、人々はより一層「つながり」を重要視しています。そこで私たちは、非常時でも災害時でも「人とのつながり」をサポートすることができるツールとして「Grouper」を作成しました。

「Grouper」は、平常時はコミュニケーションツールとして、災害時は情報共有・伝達ツールとして「人とのつながり」をサポートします。

2. システム概要

「Grouper」は短期間・少人数でグループを作成し、その中でさまざまなツールを利用することができるシステムです。グループ利用に特化した機能を搭載しています。

Android スマートフォン上で動作し、インターネット環境に接続している環境で動作します。移動式サーバを利用している場合は、そこに接続することでGrouperを利用することができます。

3. 基本機能（図1参照）

3.1 トーク機能

グループ内で自由に文字を使ってトークをすることができます。位置情報の共有や画像送信も可能です。

3.2 アラーム共有機能

グループのメンバーの端末のアラームを一斉に鳴らすことができます。また、アラームに対し選択肢を設定し、メンバーの選択状況を確認することができます。

3.3 災害時専用機能

グループ作成時に「災害用」を選択すると、「掲示板機能」「スケジュール機能」を利用することができます。

掲示板機能は、行政手続きに関する情報や支援の情報をグループ内で共有することができる機能です。

スケジュール機能は、複数人で行動する際、予定時刻になったら通知を送信することができる機能です。

3.4 移動式サーバ

インターネット回線がない環境でも Raspberry Pi を利用した移動式サーバがあれば、Grouper をどんな時でも利用することができます。

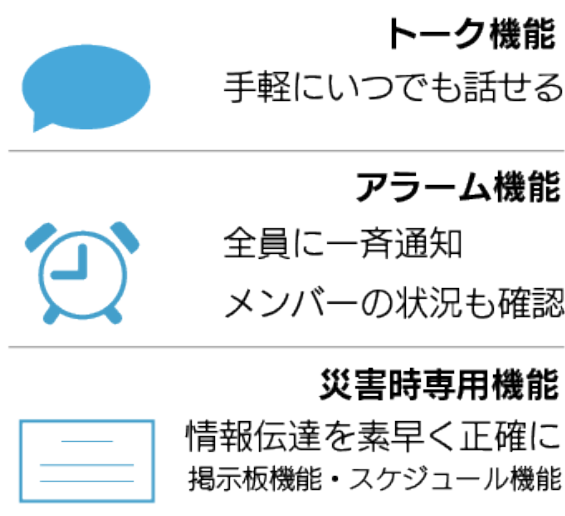


図1 Grouper の主な機能

4. 想定する利用例

4.1. 災害時

- ・ボランティアメンバー間の情報交換
- ・避難所での情報交換
- ・家族や友だちの安全確認（アラーム機能の応用利用）

4.2. 平常時

- ・パッキングツアーなどでの情報伝達やアラーム共有
- ・迷子になっている人へ集合場所の送信
- ・寂しい時の誰かとの会話

5. おわりに

Grouper は「災害時」のみならず、「平常時」でも便利に使うことができるように設計されています。

Grouper を使うことで、ふだんから「つながり」を意識するきっかけになればと思っています。